県内の自治体と初の単独協定
塙町と相互応援に関する協定締結

町と塙町による「災害時における相互応援に関する協定」の締結式が7月11日、塙町役場で行われました。この協定は、いずれかの自治体で災害が発生し、単独で被災者救援が行えない場合に、物資の提供や人員派遣、被災者受け入れなどを行うことで、住民の安全を確保するものです。高橋町長は「復旧・復興をともに歩んできた県内自治体同士が、日ごろから災害情勢や課題などを共有することで、一層の防災力強化につながる」と話し、塙町の宮田秀利町長は「町民の心に安心・安寧を与える協定となる」と期待を込めました。

▲江戸時代、塙代官や桑折代官を務めた寺西封元を通じてゆかりのある両町が相互連携協定を締結。協定書を手にする塙町の宮田町長（左）と高橋町長（右）

子どもの成長、地域で応援
青少年育成町民会議大会

青少年が健やかに成長できるように、町や学校、PTA、町内会などで組織する町青少年育成町民会議の大会が7月9日、イコーゼで開かれ、約100人が参加しました。はじめに、事業報告・計画が協議され、当会の活動内容や目標を確認し、大会宣言を行いました。その後、教育のための科学研究所上席研究員の目黒朋子さんを講師に、「AI時代を生きる私たちが今考えるべきこと」をテーマとした講演会を開催。AIを上手く活用するために必要な「読解力」は、子どもの学力にも直結することなどを学び、理解を深めました。

▲「子どもの読解力を向上させるために、まずは大人の読解力を高めましょう」と話す目黒さん

部活動指導員・外部指導者
募集中！
詳細は、右記二次元コードから
ご確認ください▶

街の住みここちランキング
2025〈福島県版〉第1位

町は、大東建託株式会社による「いい部屋ネット街の住みここちランキング2025（福島県版）」で、2年連続第1位を獲得しました。

このランキングは、8つの評価項目があり、3つの項目で1位の評価を得ました。幼稚園・小学校・中学校の給食費無償化や制服支給などの子育て支援の充実や、自然豊かな環境でありながらも交通利便性が高いことなどが評価されました。町は、今後も「住み続けたいまち　住みたいまち桑折」の維持とさらなる向上に向けて各種政策を展開していきます。

順位	自治体	評価項目
1	桑折町	1位　［親しみやすさ］ ［物価・家賃］ ［行政サービス］ 4位　［静かさ・治安］ ［交通利便性］
2	鏡石町	1位　［交通利便性］ 2位　［親しみやすさ］ ［賑わい］ ［物価・家賃］ ［行政サービス］
3	郡山市	1位　［生活利便性］ ［賑わい］ 3位　［交通利便性］ ［親しみやすさ］ ［行政サービス］

楽市楽座in山車フェス開催に向けた
ワーキンググループ・運営委員会

9月28日に開かれる町制施行70周年記念事業「奥州こおり宿楽市楽座in山車フェス」に向けたワーキンググループと運営委員会が6月21日、30日に行われました。ワーキンググループでは、当イベントで体験ブースを運営する一般社団法人カーニバルワークスに所属の学生18人が、「縁日」をテーマに企画案を出し合いました。運営委員会では、山車を保有する13団体の代表者が集まり、山車の運行方法などについて意見を交わしました。町は今後も、イベント開催に向けて、地域の皆さんとともに意見交換を重ねていきます。

1_当日の出し物の内容について話し合うワーキンググループ。各グループに分かれて、みんなが盛り上がるイベントを目指して、さまざまなアイディアを出し合いました　2_山車の運行方法などについて活発な議論が交わされた運営委員会